

令和3年度 事業報告書

自：令和3年4月1日
 至：令和4年3月31日
 社会福祉法人 健善富会
 真生保育園

1：定員

| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 定員 | 9 | 17 | 18 | 16 | 17 | 17 | 90 |
| 4月 | 5 | 18 | 17 | 17 | 16 | 19 | 92 |
| 3月 | 10 | 17 | 17 | 18 | 18 | 16 | 94 |

2：職員数

| 施設長 | 主任保育士 | 保育士 | 栄養士 | 調理員 | 事務 | 看護師 | 保育補助 | 延長保育 | 用務 |
|-----|-------|-----|-----|-----|----|-----|------|------|----|
| 1 | 1 | 16 | 2 | 4 | 1 | 1 | 2 | 4 | 1 |

3：保育理念・・・すべての子どもたちとその家族の幸福を願い、将来、子ども達が世の為、他人の為に働く人にそれぞれの分野において、社会貢献できる人になれるよう支援する。

保育方針・・・一人ひとりを大切に、肌理細やかに丁寧に保育をする。

保育目標・・・子どもの社会性、主体性、意欲を培う。

4：年間行事予定 ※ —— 中止の行事

| 月 | 保育行事 | 保健 | 定例行事 |
|-----|--------------|------------|---------|
| 4月 | | | 絵画指導 |
| 5月 | | 内科検診 | 体育指導 |
| 6月 | 社会見学 | 歯科検診 | クラス会議 |
| 7月 | お楽しみ会 | | 職員会議 |
| 8月 | 職員研修 | | 給食会議 |
| 9月 | 秋祭り | ゴキブリ駆除、尿検査 | 絵本会議 |
| 10月 | FSD、芋ほり | 内科検診 | リーダー会議 |
| 11月 | 観劇会 | | 避難訓練 |
| 12月 | 子ども劇場、クリスマス会 | | 身体測定 |
| 1月 | 保育参観、個人面談、 | | 園内研修 |
| 2月 | | | その他イベント |
| 3月 | お別れ会、卒園式 | ゴキブリ駆除 | |

5：保育時間

| | 月～金 | 延長保育 | 土 |
|-------|--------|---------|--------|
| 通常保育 | 7時～18時 | 18時～20時 | 7時～18時 |
| 短時間保育 | 9時～17時 | | 9時～17時 |

6：特別保育事業、健康管理

| | | | |
|---------|-----------------------------------|----------|-----------|
| 特別保育事業 | *延長保育事業 | *障害児保育事業 | *産休明け保育事業 |
| 児童の健康管理 | *内科検診（年2回）*歯科検診・尿検査（年1回）*身体測定（毎月） | | |
| 職員の健康管理 | *細菌検査（0歳、調理職員月4回・他月2回）*健康診断（年1回） | | |

7：防災計画、安全対策

- *防災計画の実施
- *避難訓練の実施（月1回）、消防署による消火訓練（年1回）
- *緊急連絡先の登録
- *非常用飲料水、食物の確保
- *緊急通報装置の設置

8：研修

| | |
|---|--|
| 年 | 施設長研修・主任研修・保育士研修・新人研修・看護師研修 |
| 間 | わらべうた研修・幼保小接続会議・WEB研修（絵本、育児、自己管理） キャリアアップ研修・栄養士研修 |

9：運営報告

- * コロナウイルス感染症の影響により、日々の健康観察や自粛要請期間などがあり、保護者の負担は大きい一年であったが、理解と協力を頂き、無事休園等もなく過ごす事が出来た。幼児はパーテーションやマスクの意味を理解し、子どもたち自身が気を付けながら過ごす様子も見られたが、子どもたちには出来るだけ窮屈な思いをさせないように意識して保育をしてきた。行事等は学年別などの対応になったが、改めて行事の意味を考えさせられる機会となり、「できない」ではなく「どうしたらできるか」の考え方で様々な案を出し合い、行事を成功できたことは今度の大きな自信に繋がっていくと考える。
コミュニケーションが取りづらい時だからこそ保育士はみな報連相を意識し、クラスでの話の時間を増やし連携を図ると共に同じ意識や保育観の中で保育に取り組むことが出来た。
- * 千葉市民間保育園協議会で行われた利用者満足度調査では「子どもの名前を適切に呼んでいる」「丁寧な関わり」「保育環境」の部分で特に高い評価を頂いた。子どもの名前を丁寧に呼ぶことは、丁寧な言葉かけや丁寧な関わりに繋がると長年意識してきたことであったため、とても嬉しく感じている。また丁寧な保育は、園の保育方針であり、開園から大切にしていたことが多くの方に理解をしていただけていた事は、保育士の自信に繋がっていくと考える。恵まれた保育環境に感謝し、より丁寧に、子どもに寄り添った保育を大切にしていくことを保育士間で共有した。